

# 第4回 BENEfit®-System 認定セミナー（技工実習付き）



## 口蓋前方部の矯正用アンカースクリュー 矯正歯科と顎顔面矯正の先進メカニクス Dieter Drescher 教授セミナー

現代の歯科矯正において、アンカースクリューは多くのメリットを擁するため一般的な治療方法となりました。現在、歯槽部にアンカースクリューが多く埋入されていますが、最近の論文によると 16.1%の脱落が報告されています。口蓋前方部への埋入を選択することで、この問題を解決し、着脱可能なアバットメントを有する BENEfit® システムのアンカースクリューを用いて、簡単に治療に組み込むことができます。シンプルな埋入術式で複雑な技工作業を必要とせず、多様な治療メカニクスを応用することが可能になりました。

今日、顎顔面矯正の領域においてもアンカースクリューが適応され、上顎急速拡大と上顎前方牽引を行うスケレタル・アンカレッジ装置が使用されています。Alt-RAMEC のような最新プロトコルに沿った術式により、治療効果をさらに高めることができます。過成長がみられる骨格性 III 級の早期治療が必要なケースでは、下顎に Mentoplate を併用し、フェイスナル・マスクのような顎外装置を使用せずに治療することが可能です。矯正治療の目的を超えて、アンカースクリューは成長期の顎整形的な治療にも応用されています。



パラメディアン・ベネスライダー

会場 東京国際フォーラム ホールD1(1F)



### 技工実習セット



ラボラトリーアナログと帯環付き模型

専用ドライバー

ベネスライダー 近心・遠心

### 技工実習内容



ベネスライダー（近心・遠心移動）  
技工実習は約 30 分ほど予定しております。実習用にペンディングブライヤーをご持参下さい。

### 完成模型



ベネスライダー 近心・遠心移動

完成した模型と専用ドライバーはお持ち帰り頂けます。患者さん説明用模型としてお使い頂けます。

※講義内容は都合により一部変更される場合があります。ご了承下さい。

第4回 BENEfit®システム認定セミナー		FAX : 0120-53-3313		申込み切: 2023年10月31日	
フリガナ	▽お名前をローマ字でご記入下さい。セミナー修了証に印字されます。				
お名前	<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> (再受講) <input type="checkbox"/> 歯科技工士 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 <input type="checkbox"/> 学生				
医院名					
ご連絡先住所					
TEL	FAX	E-mail			

申込み方法 1. 必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。または web@yasunaga.co.jp までメールでお申込み下さい。  
2. お申込み確認後、お振込のご案内を致します。右記の口座まで受講料のお振込をお願い致します。ご入金頂いた際の振込用紙が領収書となります。  
3. 受講料のお振込をもって、正式な申込みとさせていただきます。※忘れ入りますが振込手数料はご負担願います。※受講料の返金はご容赦願います。

お問い合わせ: 安永コンピュータシステム(株) セミナー係 TEL: 03-3543-3533 E-mail: web@yasunaga.co.jp

振込口座 ゆうちょ銀行 079 店 当座 0070242 BENEfit システム

英語・逐次日本語通訳



## 第4回 BENEfit® システム認定セミナー

# Dieter Drescher 教授セミナー in 東京



## Prof. Dr. Dieter Drescher ディーター・ドレッチャー教授

デュッセルドルフ大学歯学部部長・同大学矯正歯科主任教授

次世代型矯正アンカースクリュー・システムである BENEfit®-System を開発したドイツ、デュッセルドルフ大学矯正歯科主任教授 Dieter Drescher 教授をお迎えし、BENEfit®-System の基本的コンセプトから臨床的応用まで多くの論文や症例と共に分かりやすく解説して頂きます。

今回、田口元康先生によるベネフィット・スクリュー脱落を防ぐ為のテクニックや大白歯の近遠心移動や上顎スケレタル拡大、アジア人特有の犬歯遠心移動、前歯部叢生改善、前歯リトラクションなど日本人の症例での講演も行います。本セミナーは技工実習を含むベネフィットシステムの認定コースです。

1958 年生まれ。1977～82 年 ボン大学にて歯科学専攻。1984 年ドイツ歯学博士号授受。1984～88 年 矯正専門医卒後研修。1991 年 Ph.D. 授受。1993～97 年 ボン大学矯正歯科主任教授。1997 年よりデュッセルドルフ大学矯正歯科講座主任教授。2002 年よりデュッセルドルフ大学歯学部部長兼任。主な研究テーマはスケレタル・アンカレッジ、顎顔面矯正、スマート材料。ドレッチャー教授は 120 を超える国際的な論文を発表し、各国で講演活動を行っている。研究・教育・臨床において卓越した現代のドイツ矯正歯科界を牽引するプロフェッサー。

### 口蓋前方部の矯正用アンカースクリュー ～矯正歯科と顎顔面矯正の先進メカニクス～

近年の矯正治療において、矯正用アンカースクリューは最大の固定源を得るために十分確立された治療方法です。上顎骨の口蓋前方部は最適な骨量および骨質を有するため、アンカースクリューを埋入する最適な部位であることが既に明らかになっています。上顎骨における臨床で考えられる多様な治療を行うため、着脱可能なアバットメントを備えた BENEfit® システムのアンカースクリューを使用し、応用する道が拓かれました。

本セミナーでは以下の矯正治療について詳しく解説されます。

#### ディーター・ドレッチャー教授

- 口蓋前方部のアンカースクリュー埋入 - 理論とテクニック
- 上顎大白歯の遠心移動 (BENEslider)
- 上顎大白歯の近心移動 (Mesialslider)
- Mesial-Distalslider を使用した近心・遠心の同時移動
- 上顎急速拡大と早期 III 級治療
- 前歯のエンマス・リトラクション (Triangle TPA 装置)
- 大白歯の整直と圧下 (Mousetrap 装置)
- 3D メタルプリンティング (TADMAN)
- アライナーとベネフィットシステム (BENEslider)

#### 田口元康先生

- 脱落等失敗しない為のベネフィットの臨床。
- ベネフィットシステムによる日本人の症例。
- 技工実習 - BENEslider (近心・遠心移動) etc ..



田口 元康 先生  
北千住矯正歯科 理事長

1955 年生まれ。福岡県立九州歯科大学卒業。東京医科歯科大学大学院 歯科矯正講座卒業、歯学博士取得 (歯科矯正学) 日本矯正歯科学会 認定医・臨床指導医。



症例写真: Prof. Dr. Benedict Wilmes

日時

2023年11月16日(木)  
9:30~17:00 (9:00 受付開始)

会場

東京国際フォーラム  
ホール D1(1F)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-5-1  
代表電話 03-5221-9000(有楽町駅より徒歩 1 分)

定員

60 名

受講料

歯科医師... ¥120,000 (税込) 模型込み  
再受講... ¥80,000 (税込) 模型なし  
歯科技工士・歯科衛生士・学生... ¥70,000 (税込) 模型なし  
※歯科医師と一緒に受講して下さい。※受講料には昼食が含まれます。

主催

BENEfit システム研究会

協賛: (株) ASO インターナショナル・(株)アバンテック・(有)オーソデント・(株)グローバルエイト・PSM Medical GmbH・安永コンピュータシステム(株)

BENEfit®-System 技工製作の依頼ができる技工所様





# 第4回 BENEfit® システム認定セミナー

ディーター・ドレッチャー教授の講演と、今回、田口元康先生によるベネフィット・スクリューの脱落を防ぐためのテクニックや大臼歯の近遠心移動、上顎スケレタル拡大、アジア人特有の犬歯遠心移動、前歯部叢生改善、前歯リトラクションなど日本人の症例での講演も行います。



講演者 2 田口 元康

北千住矯正歯科 理事長  
略歴  
福岡県立九州歯科大学卒業  
国立東京医科歯科大学大学院 歯科矯正講座卒業  
歯学博士取得 (歯科矯正学)  
日本矯正歯科学会 認定医・臨床指導医

## ベネフィットシステムを使用した症例

近年、矯正歯科治療を計画通り行う上で、TADは必須のアイテムとなっている。けれども埋入には歯根や骨量などにより制約を受けることを度々経験する。また、TADより直接矯正力をかけやすい頬側歯槽部への埋入は脱落率が高いと報告されている。そこで、厚い皮質骨と良好な附着歯肉を有し、埋入時の歯根損傷やTADによる歯牙移動の阻害が見られない口蓋前方部に直径2mm、長さ7mmまたは9mmのTADを2本埋入してTADのヘッド部に矯正装置を連結できるドイツのデュッセルドルフ大学で開発されたベネフィットシステム (BENEfit-System) を用いて様々な矯正治療を行い、良好な結果が得られた。

下記症例1は14歳1ヶ月の女子で、開咬、交叉咬合と著しい叢生を主訴に来院した。口蓋前方部にTADを2本埋入し、それを固定限にRapid Palatal Expansion (MARPE) にて歯牙などに負担が少なく確実に正中口蓋縫合を離開することができた。また、拡大後にBENE-SliderとNi-Ti Open Coilにて大臼歯の遠心移動を行うことが可能になり、良好な咬合を得られた。

このTADの安全性や装置作成の容易さ、スクリューの脱落を防ぐ埋入方法、安定した遠心移動の紹介や、アジア人特有の犬歯遠心移動、前歯部叢生改善、前歯リトラクションなど日本人の症例で説明します。

### 症例 1

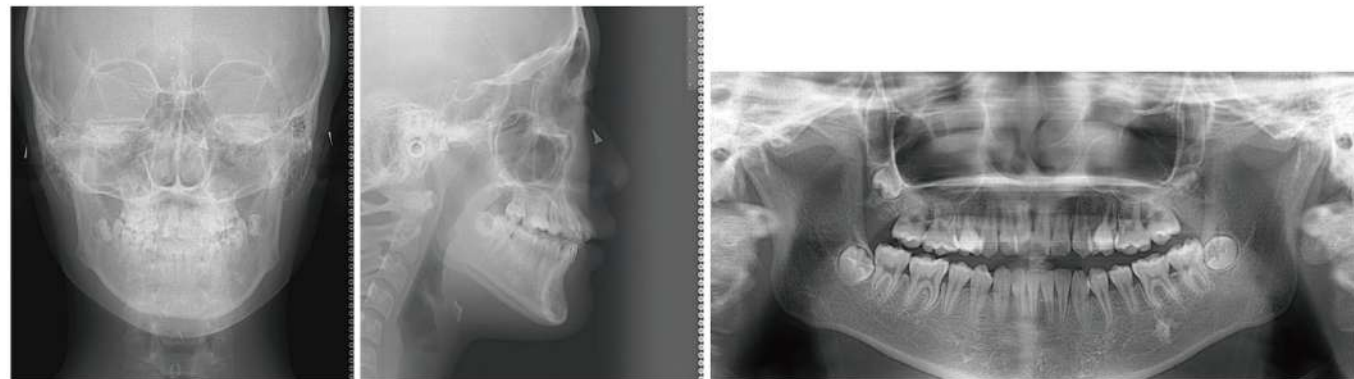
#### 治療前

14歳1ヶ月 女性  
主訴：開咬、交叉咬合  
上顎両側5番の口蓋側転位



#### Problem List

- = Skeletal =
  - Antero-posterior problem: Class I
  - Transverse problem: Mandible right side shift
  - Vertical problem: Dolicho facial type
- = Dental =
  - Severe Class II div.I
  - Open bite
  - Narrow maxillary arch
  - Severe crowding (upper arch)
  - Short central incisor roots



### 【症例 1】 Treatment Progress

Benefit mini-implant 2mm x 7mm

U: MARPE set

U: MARPE stop 6.2mm Exp.

U: Bene Distalslider set 6/6 d.d.(240g)  
L: 021 x 025 + 019 S.S.  
Wonder Wire + NiTi Coil 6/6 m.d.(100g)

U: DBS : 016 x 022 NiTi Wire 6/6 d.d. stop  
L: 0215 x 028 NiTi Wire

U: Bene appl. + TPA 6 depress start  
019 x 025 DKHL (Elgiloy)

L: 019 x 025 TMA Wire V-loop arch

U: 019 x 025 TI-NB/FA + TPA  
L: 019 x 025 S.S.  
Up & Down elastic

6 distal drive 6 months 13 months Later

6 distal drive start 7 months Later

6 distal drive 3 months 10 months Later

6 distal drive 6 months 13 months Later

20 months Later

27 months Later

### 症例 1

#### 治療後

17歳8ヶ月 女性  
主訴：開咬、交叉咬合  
上顎両側5番の口蓋側転位  
動的治療期間：29ヶ月



#### Treatment Plan

- Vertical control**
  - Mandible counter-clockwise rotation → Lower second premolar Ext. (Lower molar mesial drive) & TPA, Implant anchor
- A-P control**
  - Upper molar distal drive → Mini implant + Bene distalslider
- Transverse control**
  - Narrow maxillary arch → MARPE (Mini implant assisted RPE)
  - Arch coordinate
- Dental problem**
  - Severe crowding → Upper second premolar Ext.
  - Short central incisor roots → Light force wire & Self-ligating brackets

